

■野口遵 実業家。カーバイドや合成アンモニア製造を日本で初めて企業化し、新興財閥日室コンツェルンを形成。

のぐちしたがう

明治6年政変 1873= 石川県金沢で、旧加賀藩士の司法省官吏野口之布の長男に生まれる。

明治14年政変 1881= 8歳 :

新体詩抄・ 1882= 9歳 :

東京府立一中,  
帝国憲法発布 1889=16歳 :

足尾鉍毒始・ 1891=18歳 :  
第一高等学校を経て,

日清戦争始・ 1894=21歳 :

白馬会・ 1896=23歳 : 東京帝国大学工科大学電気工学科を卒業。郡山電灯の発電所建設に従事,

子規句歌革新 1898=25歳 : 帰京後, ジーメンス・シュッケルト日本出張所で電気事業の経験を積んだ後,

ピアノ国産化・ 1900=27歳 :

安曇電気等の電気技師を経て,  
教科書疑獄・ 1902=29歳 : 仙台で藤山常一とカーバイド製造に成功。

新潟県長岡・福島県郡山でのカーバイド事業にも関与した後,

日露戦争終・ 1905=32歳 :

満鉄発足・ 1906=33歳 : 鹿兒島県で曾木電気を設立,

アラビヤ創刊・ 1908=35歳 : 日本カーバイド商會を創業し, フランク=カロー式石灰窒素製造特許の実施権を獲得,  
伊藤博文暗殺 1909=36歳 : 両社を合併して日本窒素肥料(チッソ)を設立, 日本最初の石灰窒素・硫安の生産を開始,

明治天皇没・ 1912=39歳 :

本格政党内閣 1918=45歳 :

原敬首相暗殺 1921=48歳 : \*カザレー式アンモニア合成法の特許も取得して, 合成硫安と人造絹糸の企業化にも成功,  
水平社結成・ 1922=49歳 : 喜多双蔵と共同で旭絹織を設立。

昭和期に入ると豊富低廉な電力を求めて朝鮮に進出し, 赴戦江, 長津江の電源開発をすすめ,

金融恐慌・ 1927=54歳 : 朝鮮窒素肥料を設立し,

世界恐慌・ 1929=56歳 : 電気化学工業コンビナートを興南に建設, “半島の事業王”と称されるようになる。

満州事変・ 1931=58歳 :

一方, 日本内地でもアンモニア関連事業分野への多角化をすすめ,  
国際連盟脱退 1933=60歳 : 旭絹織・日本ベンベルグ・延岡アンモニア工業を合併して, 旭ベンベルグ絹糸を設立。日本窒素肥料の社長に就任。

二二六事件・ 1936=63歳 :

日中戦争始・ 1937=64歳 : \*満州・朝鮮鳴緑江水力発電所を設立するなど, 古河・大倉財閥を上回る日室コンツェルンを形成。

大政翼賛会・ 1940=67歳 : \*脳溢血で倒れると, 個人資産3000万円を寄付して財団法人野口研究所と朝鮮奨学会を設立し,  
日米開戦・ 1941=68歳 :

年金+総武装 1944=71歳 : 没した。